

2022年1月



## 2022年 社長年頭挨拶

株式会社 MCBI  
代表取締役社長 内田和彦

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

年頭の挨拶は、年の節目として旧年を振り返り、新たな気持ちで新たな年を迎え、経営者の考えを改めて従業員の皆さん、株主・取引先などのステークホルダーの皆様にお伝えする機会です。新型コロナウイルスのオミクロン株による第6波が起きつつあるなか、まだ収束の道筋はみえてはいませんが、経済活動の再開も視野に入れた経営が必要となっています。

当社は、認知症など生活習慣病の予防医療の事業化を通して、人々の健康と社会経済活動に貢献できることを企業理念としております。認知症予防のための画期的な血液検査である「MCI スクリーニング検査」は、毎年検査数が伸びており、2021年は、LC-MS(液体クロマトグラフィー-質量分析装置)を用いた「MCI スクリーニング検査プラス」を開始いたしました。

認知症予防のための検査として、4つのカテゴリー「栄養」「脂質代謝」「免疫・炎症」「凝固線溶」における体の状態を「見える化」するものです。また自治体と連携した認知症予防支援事業についても取り組みをスタートいたしました。今後さらに医療機関、大学病院、企業と連携して、病気の超早期発見のためのLC-MSを用いた血液バイオマーカーの研究開発と事業化を進めてまいります。

当社は新事業に取り組むスタートアップ企業です。成長が求められています。そのためには各自が成長マインドセット(Growth Mindset)を意識し、難しいことにワクワクし、失敗にもめげないでこれを次の挑戦のための学びの機会としましょう。物事はポジティブに捉え、その上でさまざまな努力、工夫し、チャンスを掴むことが大切です。

新しい年を迎えるにあたって、従業員の皆さんにお伝えしたいことが3つあります。

### 1. すぐやる(いつまでに)

すぐできそうなことは「すぐにやる」です。じっくり取り組むべきことに時間を使うためにも必要なことです。すぐにやらずにほっておくと忙しいといつのまにか忘却の彼方に追いやられてしまいます。重要な案件については常に「いつまでに(何月何日までに)」と決めておくことが大事です。

### 2. 理由(なぜ必要なのか)

常に「理由」を考え、コミュニケーションを取るときにも相手にしっかりと「理由」説明しましょう。作業ではなく仕事をしているわけですから、言われたからやっているではいけません。仕事には経済的合理主義と人間主義を合わせた論理(ロジック)が必要です。なぜ必要なのか、実現するにはどうしたらいいか、課題は何か、解決法はないかというようにすると先々まで仕事を理解することができます。

### 3. 好奇心(学び)

面白い！と思うことです。これは性格的なこともあるかもしれませんが、とにかく興味を持つことです。Alzheimer's Association のサイト([https://www.alz.org/alzheimers-dementia/research\\_progress](https://www.alz.org/alzheimers-dementia/research_progress))に Research and Progress というコーナーがあり、そこに 9,000 人を対象にした疫学調査で、インフルエンザワクチンを打った人は、一度も打ってない人より、認知症のリスクが下がるという米国の論文の紹介がありました。興味深いですね。アルツハイマー病など認知症には感染、免疫が関与しているようです。面白い！と思うと次になぜ？となり、学びの機会が増えてきます。

新年を迎え気持ちを新たにして、「いっちょやったるか」の精神で新しい取り組みをチャレンジしてまいりましょう。